

ゆのまえ 議会だより



5月号
平成30年
5月1日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

時勢の回転で花開く



P2 特集

新議長挨拶・介護保険料値上げ・公社継続

P4 本会議

地方創生に出遅れ感

P7 一般質問

一般質問に関連質問を導入

P12 委員会

P14 研修

P15 一部事務組合

P16 住民の声

今号の写真

平成30年度に解体が決まった親子水車、通称「みどりのコットンくん」。平成4年に落成した、当時「世界一」の大水車。マンホール蓋にも描かれている町のシンボル。写真は、桜と水車のファイナルカットです。町づくりも人づくりも、時代に合わせてうまく回転すれば、良い結果が開くでしょう。

新議長挨拶

倉本 豊



をお願い申し上げます。

さて、議会では、平成28年11月の改選直後からスタートした議会改革の取り組みにおいて、「住民に見え、参加しやすい議会」「議会力・議員力の向上」の3つを改革の柱と定め、町を良くするために、まずは自らが変わらなければならぬという想いで、様々な調査・研究を進めています。

また、「住民に見える議会」を目指す取り組みの一環として、昨年11月号より「ゆのまえ議会だより」のページ数を大幅に増やして、「広報ゆのまえ」から独立しました。また、今号より、「住民の声」を掲載しています。

議会改革を継続

去る1月22日開催の湯前町議会臨時会において、第27代湯前町議会議長に就任した倉本でございます。誠に身に余る光栄であると共に、責任の重さを痛感しております。住民の皆様への負託に応えられるよう精一杯努力して参りますので、住民の皆様、議員の皆様方のご理解とご協力を、切

例え、これまで議員全員で行っていた研修を、議員一人ひとりが違うテーマの研修に参加し、その内容を議員全員で共有することにより、同じ経費で10倍の情報・知識を得ることができ、「議会力・

議員の仕事は、住民の声を町政に届けることが基本です。ので、どうか住民の皆様には「ゆのまえ議会だより」をご覧ください、お近く、またはお知り合いの議員まで、率直なご意見をお届けいただきませう、宜しくお願いいたします。

議員の仕事は、住民の声を町政に届けることが基本です。ので、どうか住民の皆様には「ゆのまえ議会だより」をご覧ください、お近く、またはお知り合いの議員まで、率直なご意見をお届けいただきませう、宜しくお願いいたします。

議員の仕事は、住民の声を町政に届けることが基本です。ので、どうか住民の皆様には「ゆのまえ議会だより」をご覧ください、お近く、またはお知り合いの議員まで、率直なご意見をお届けいただきませう、宜しくお願いいたします。

第7期から介護保険料値上げ

第6期からの反動に町長陳謝

▼4月から県内全45市町村のうち37市町村が、65歳以上の介護保険料(基準月額)を引き上げました。

当初7005円でした。他町村の平均値6200円まで下げる条例改正は、賛成8人、反対1人でした。(P6参照)

▼本町は、第6期保険料の見込み額を、人吉球磨で一番安い5000円にしました。しかし、見込み額が小さかったため、県の財政安定化基金を借り入れた分が第7期に上乗せされました。第6期保険料は、本来5532円が必要でした。

▼3月定例会の予算審議では、取り崩す財源を地域福祉基金としていました。しかし、基金条例の6条(処分)で、「この基金は、地域保健福祉の増進を図る事業を行う場合に処分できる」となっており、この基金を介護保険料に充当す

▼第7期の見込み保険料は、

つながる健康施策に取り組むこと、介護保険料のあり方(公費負担の割合や制度見直し等)を国に要望することを、議会から提言しました。

農業公社 継続

施政方針に無き町長決断

リーダー招聘

▼平成27年度以降、議会からリーダー(代表理事)招聘を提言してきました。公社経営が好転しないまま時が進み、その間もリーダー招聘できないのであれば、公社解散も町長に指摘していたところですが、これに対する町長の動きがなかったため、平成30年3月1日に議会運営委員会から町長へリーダー招聘の要望書を提出しました。

▼3月定例会において、施政方針ではなく、予算編成方針の中で公社継続の報告がありました。

▼町長は、公募によらず、自身の知り得る中での交渉、取り組みを進められています。議会は、このリーダーの元で、早急に中長期事業計画を改定

するよう求めています。

町長の説明責任

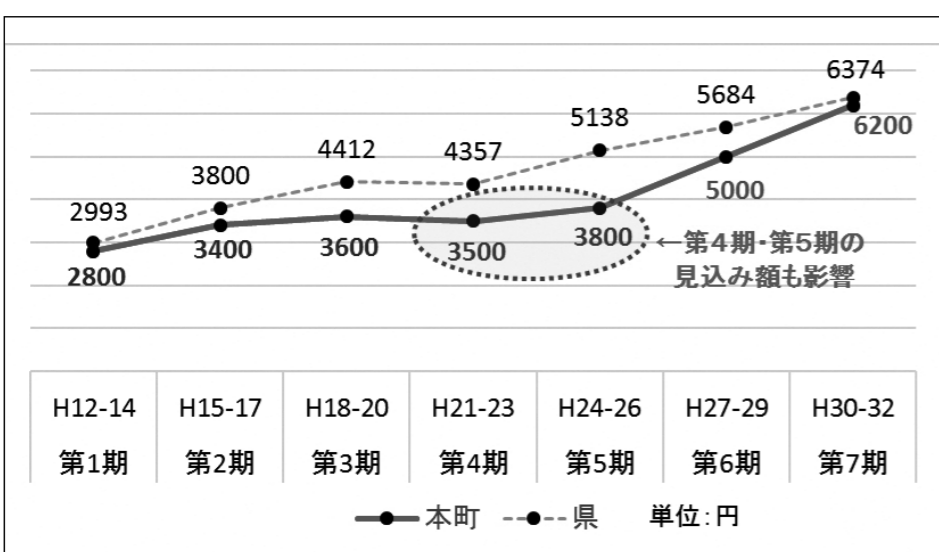
▼町長には、第三セクター運営の責任があります。まずは、7期連続の赤字経営の責任を踏まえて、公社継続とリーダー招聘に至った背景を、住民(特に農業生産者)の皆様説明する責任があります。

▼農業生産者から、公社継続に疑問の声があるのも事実です。町長自らの言葉で、湯前町農



設立して8期目を迎えた農業公社

業公社の現状と必要性について、「広報湯前」でしっかりと説明するよう、議会から提言しています。



期ごとに上昇する介護保険料(第1号保険者65歳以上)の推移

地方創生に出遅れ感

町長に速やかな決断を求める

平成30年3月定例会は、7日から16日まで10日間の日程で開会。条例等の議案14件、補正予算・当初予算の審議12件、指定管理等の議決事項8件など全34議案を審議しました。4人が一般質問に立ち、空き家対策、子育て支援、防災、漫画のまちづくりなど執行部の考えを質しました。また、1月と2月に臨時会が開催されました。

新年度予算
前年度比4.5%増
28億4511万7000円。

- ▼歳出 ※主なもの
- 庁舎耐震補強工事・設計管理 2182万6000円
- 旧南部保育所改修工事・設計管理 866万1000円
- LED防犯灯設置工事(100基) 508万円
- 防犯カメラ設置工事(10基) 360万円
- 自主防災組織用照明機器等購入費 297万円
- ふるさと納税返礼品代 2000万円
- 住宅リフォーム補助金 200万円
- 空き家リフォーム補助金 450万円
- イベント実行委員会補助金(漫画フェスタ) 630万円
- 福祉タクシー事業助成金 664万8000円
- 国民健康保険基金安定費繰入金 2599万2000円
- 介護保険特別会計繰入金 1億1742万5000円

- 健康管理血圧計購入補助金 町内15分館 500万円
- 放課後児童健全育成事業費補助金 1131万円
- 公立多良木病院企業団負担金 536万9000円
- 子ども医療費助成金 1440万円
- 不妊治療費助成金95万円
- 人吉球磨広域行政組合負担金(ごみ処理分) 3580万2000円
- 中山間地域等直接支払交付金 3109万3000円
- 農業後継者等支援補助金 384万円
- 湯前版中山間地域直接支払補助金 202万5000円
- 湯前町避難防災交流施設指定管理料 329万2000円
- 湯前駅レールウイング指定管理料 348万2000円
- 湯前駅周辺(トイレ・モニタメント)整備工事・設計管理 2100万円
- 水車・からくり小屋解体工事設計委託金 550万円
- 耐震診断等補助金 120万円

- 町道学校線歩道整備工事 3450万円
- 一般住宅建設工事(若者向け住宅) 2800万円
- 上球磨消防組合負担金 9351万3000円
- 小学校トイレ洋式化工事費 210万3000円
- 御大師堂周辺埋蔵文化財調査委託料 750万円

厳しい財政状況 町政推進プロジェクトに期待

▼本町の財政は、経常収支比率96.6%(平成28年度)が示すとおり、過去に例をみない厳しい状況です。

▼平成29年度に職員で組織した町政推進プロジェクトでは、町単独補助施策の抜本的な見直しと効果的な施策へ転換する検討が行われていきます。その結果を、平成31年度から3年間の第6期行政財政再建計画に盛り込む予定です。

補助金のあり方 見直し提案

▼現在の補助金は、検証できていないもの、終期が設定されていないものが多数存在します。このため、補助金が年々積み上がり、財政にも影響を与えています。

町長給与と職員給与 バランスの配慮を

▼ラスパイレス指数について、議会から指摘。(ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100としたときの、地方公務員の給与水準)▼本町のラスパイレス指数は、平成29年4月1日時点で92.3%。県内45市町村で下から2番目の低さ。一方、町長給与は、31町村で上から8番目の高さ。参考までに、議員報酬は、行財政改革で下げたままの状況です。

平成29年度 補正予算

人材育成・ふるさと創生 基金の活用を

これらの基金活用は、数年前より議会から提案していますが、町長からの指示は未だにありません。地方創生(総合戦略)も終盤、これらの基金を財源として積極的に投資することを、議会から改めて提案しました。

福祉タクシー事業 助成金 助成枠拡大も 6割利用に留まる

福祉タクシー以外の交通手段や、公共交通のあり方を近隣自治体と協議することを、議会から提案しています。

学校トイレ洋式化 計画的な整備が課題

新聞報道では、本町の小学校における様式便器の割合が24.6%。和式トイレの必要性も教育長より答弁がありました。内閣府は、避難所になる学校のトイレを節水型の洋式トイレにするよう推奨しています。どのような様式トイレを、最終的に何パーセント整備するのか検討が必要です。

学校給食費の助成

人吉球磨でないのは
本町だけ

学校給食法の中で、給食費は保護者負担とすることが示されています。本町で月1000円を助成した場合、年間で約500万円の試算になります。他市町村にはない別の子ども支援策を設けるのか、同様の給食費助成にするのか、検討が必要です。



施政方針

積極的な農業政策を

鶴田町政これまでの農業予算は、町独自の大胆な投資がなされていません。農業政策への大胆な投資を、担当課からの意見も聞きながら検討するように、議会から改めて提案しました。

庁舎耐震補強工事

当面は現庁舎で継続

現在の役場庁舎は、昭和44に建設。平成30年度から公共



耐震補強する役場庁舎

若者の定住促進

まずは一般住宅を 3戸建設

中里2区に公営住宅1棟(3世帯分)を建設。工事費は2980万円。平成30年度と平成31年度で合計2棟(6世帯分)を計画。家賃は2万円程度との答弁を受けましたが、算定根拠や今後の需要予測などの協議が必要です。

空き家リフォーム等 補助金を新設

空き家を有効活用し、移住定住促進と地域経済活性化を図るため、空き家改修の補助



中里地区の住宅建設予定地

一般質問に関連質問を導入 全国的に先進的な取り組み

関連質問とは？ 執行機関に対する監査機能、政策提案機能を果たすため、一般質問議員の質問後に、他の議員から質問を補足するもの。一般質問を議場でひとりぼっちにしない効果的な取り組み。

2月5日の上球磨議員研修会の中で、一般質問における関連質問の必要性を議員全員で協議し、3月議会から試行的に取り組みことにしました。これは全国的にも事例は少なく、人吉球磨管内では初めての取り組みです。平成30年度中には会議規則に載せて本格運用を目指します。今回、遠坂、椎葉、味岡、金子の4議員が、関連質問に挑みました。

ページ	質問者(登壇順)	質問項目	通算質問回数※
8	高橋 一雄	①空き家対策 について ②子育て支援策	6
9	遠坂 道太	①少子化対策 ②農業公社のリーダ招聘	5
10	金子 光喜	①防災に関する政策 ②防犯対策	6
11	椎葉 弘樹	①住民向け行政サービスのIT活用 ②漫画のまちづくり検証	6
	味岡 恭		3
	森山 宏		2
	黒木 龍次		
	黒木喜巳男		
	山下 力		(前議長)
	倉本 豊		2(議長)

※：数字は、平成28年11月 新体制以降の質問回数(全6回)

条例改正・その他

駅周辺施設 新たな指定管理者を導入

▼湯前駅レールウイング複合施設は「奥球磨スマートタウン研究所」、避難防災交流施設は「湯前町観光物産協会」が指定管理者としてそれぞれ指定されました。今後の民間活力による運営が期待されます。
▼指定管理者の提案は、指定管理者選定委員会の調査・審議の結果を踏まえて行われます。湯前駅レールウイング複合施設の提案は、賛成8人、反対1人でした。
▼本町の指定管理者は、湯前里、湯前町社会福祉協議会、下村婦人会、湯前町農業公社



今後の展開が課題の駅周辺施設

を含め6つに増えたため、指定管理者の適正管理がより一層求められます。

企画観光課 新たな課を新設

現在の産業振興課を農林振興課に改め、企画観光課を新設しました。これにより、庁舎内の企画力と検証力の強化、ふるさと寄附金事業の推進、企画部門と連携した総合的な観光推進が期待されます。

ふるさと応援基金 新たな基金を新設

ふるさと納税寄附金を活用し、誇れる町を実現するために、湯前町ふるさと応援基金を設置しました。

インターネット料金 7年ぶり値下げ

平成27年以降、議会から提案。一般質問や質疑、委員会調査で指摘を重ね、球磨管内の光インターネット接続サービスで最安値3700円を実現することができました。料

金値下げによる利活用の促進が期待されます。

B&G体育館裏の土地 利活用を改めて指摘

取得後20年以上が経過。将来の弓道場用地として先行取得した土地(平成8年度に登記約270万円)は、未だに町からの計画提示がありません。早急に検討結果を報告するように、議会から改めて指摘しました。



土地購入後、放置されている公有財産

下水道料金方式 従量制・人頭制の結論を

平成19年度から長きに渡る継続課題。平成29年度から行っている下水道事業審議会の答申を受けて結論が出される予定です。

上球磨議員 研修会より 質問力をつくる 政策議会

政策議会を目指す

▼全ての政策は実現できません。国は2000年以降、歳出削減を進め、地方財政もその影響を受けています。課題は無限にありますが、資源は有限なので決断が必要です。
▼議会が良い決断を早くしないと、地方は衰退します。複数の選択肢から何を選ぶかは、最終的に議会の権限。住民や町にとって、よりよい政策の実現を目指すのが議会の職責です。
▼議案の9割以上が首長提案。その内の殆どが原案可決。議員は、政策にどう貢献するかが重要です。
▼執行部と議会は、町を良くしたいという共通目標があります。昔ながらの執行部と議会の関係性には、行政の悪い風潮もあります。行政のメン



質問力の研修を受講する上球磨議員

良い一般質問を 目指す

▼職員は全国で2割ほど減っています。特に計画・検証・改善ができていなくなっています。この部分の提案・監査を行うのが、議員の役割です。
▼議員が政治家として勝負できるのが、一般質問の場。執行部からの公式見解を引き出し、政策提案もできます。
▼住民に「議会があつて良

ツを潰さないように気遣い、馴れ合いや追認になってはいけません。

町民の皆様へ

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

かった」と思われるよう、良い一般質問をすべきです。

議案	遠坂道太	椎葉弘樹	森山宏	黒木龍次	味岡恭	金子光喜	高橋一雄	黒木喜巳男	山下力	倉本豊	審議結果 (賛成：反対)
平成30年度(一般会計・特別会計)当初予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
ふるさと応援基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
湯前町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決(8:1)
湯前駅レールウイング複合施設の指定管理者	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	可決(8:1)
上記以外の議案 ※一般会計補正予算、条例改正など	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)

○：賛成 -：採決なし(議長は採決に加わりません)



高橋 一雄 議員

問 危険な空き家の対策を

答 7戸把握も未計画

質問 危険な空き家の現状を把握しているか。

課長 平成26年度に調査し、放置すると老朽化する空き家が70戸、倒壊や建築材の飛散などの危険性がある空き家を7戸確認している。

質問 空き家対策特別措置法により、適切な管理が行われていない空き家に対して、自治体が住民の生命・財産の保護、生活環境の保全のために、持ち主に対して指導や勧告、命令、代執行ができるようになった。住宅密集地は特に危険であり、持ち主に対する指導など、対策を取っているのか。万が一のことが起こる前に対策を打つべきだ。

課長 相続を放棄したり、ご家族の方に連絡がつかなかったりなどの理由で放置されている。空き家対策特措法に基づき、協議会を設置し、対策を検討したい。

関連質問 椎葉議員 町長の施政方針で、空き家対策という文言は出ていなかったが、危険家屋が近所に被害を及ぼす前に、手を打たないといけ



空き家バンクに登録されている物件

ない。平成30年度から取り組むべきでは。

町長 早速に取り組みたい。

関連質問 味岡議員 平成26年度の調査からさらに人口減少が進んでいる。再調査をするべきでは。

課長 老朽化の進み具合や持ち主の方の調査などを平成30年度にしたい。

関連質問 金子議員 染田地区の案件は、かつて早急な対応を指摘していたが、まだできていないのは非常に残念。被害が出てからでは遅い。

課長 空き家対策の町全体の計画を早急に進めたい。

質問 町の出生数は他町村と比べてどうなのか。

課長 同規模の町村と比べると、減少が大きい。

質問 原因として、子育て支援策が遅れているのではな

課長 町ではしてはなくて、周辺自治体を取り組んでいる施策は。

課長 出産祝い金や高校3年までの医療費無料化の自治体もある。教育関係では、入学祝い金や給食費や修学旅行費の補助、通学定期経費の補助が実施されているところもある。

質問 財政担当課は、取り組み気持ちはあるのか。

課長 財政は今後も厳しくなるが、他の施策を絞るとか、国の補助を持つてくるとか、

問 子育て支援策が遅れているのでは

答 財政面の工面、協議が必要

財政の工面が必要。

町長 少子高齢化の中での若者の定住について、町において、何が必要なのか協議している。

問 出産祝い金の考えは

答 上半期に方向性を出したい

質問 少子化対策についての考えは。

町長 子どもの数が多いのは、地域の勢い、国の勢いを感じる場所である。子どもの

数が少ないのは逆に勢いのある象徴するものである。国の生産力等を考えると非常に大きな問題である。

質問 出産祝い金制度は、なぜ取り組まなかったのか、今後取り組むのか。

町長 様々な取り組みの中で有効なものをどのように創設するか庁舎内のプロジェクトの中でも協議している。財源もすっかりとした裏付けを取りながら協議をしている。その方向性、それが祝い金を含めて、しっかりとした方向性を示すことができるよう早く努めたい。

質問 出産祝い金の財源に、ふるさと納税を活用してはどうか。

町長 運営の中で、優先順位を決めて、取り組まなければ

いけない。ふるさと納税も1つの選択肢だが、しっかりと協議して、提案できればと思っている。

関連質問 椎葉議員 出産祝い金制度は、いつまでに結論を出すのか。

課長 20代、30代の世代を増やすための取り組みが必要であり、出産祝い金を含めて整理して考えなければならぬ。

町長 いつまでというものが、残念ながら今の時点では申し上げられないが、運用に向けての準備ができればということ、できれば上半期にはその方向性が出ればという思い。

関連質問 椎葉議員 取り組むのか取り組まないのか、



問 農業公社のリーダー招聘は

答 早い時期に提案したい

質問 農業公社のリーダー招聘はできているのか。

町長 依頼する方の最終判断をする時期がきている、早い時期からお願ひできればと思っている。

関連質問 椎葉議員 リーダー招聘を公募してもよかつたのでは。

町長 私の中では、大ホームランもあるが三振もあるという政策になつてはならないというのが基本的であり、よりしっかりとした後ろ盾を見ながら、いろんな個人や組織との関係を持ちながらなんとかうまくいけばという思いで、公募によらず、私の知り得る中で交渉、取り組みを進めてきたところ。



金子 光喜 議員

問 災害に対する備えは十分なのか

答 人吉球磨は安全という認識をなくして取り組む



野中田地区の自主防災訓練



町全体の合同訓練(上球磨消防署の模範)

質問 自主防災組織の強化とあわせて、自治体や企業で防災のエキスパートと言われる防災士の養成が進められている。本町の現状と養成の考えはあるのか。

課長 防災士は、大規模災害の発災時における避難所の運営やボランティアとの共同活動など、さまざまに活躍していただける方と認識している。現在全国で14万4900人、県で1684人、球磨郡管内で55人が認定を受けている。

質問 町の防災計画書にもきちんと計画されている学校教育現場での防災知識の普及などは、どの程度取り組んでいるのか。

教育長 これまでの熊本地震や九州北部豪雨、南縁断層も踏まえながら、今まで以上に防災教育が叫ばれている。地震や風水害の発生への備え、人々や地域の安全を支え、安全安心な社会を構築する能力といった、進んで防災に対応できる人材を育成することが小中学校防災教育の狙い。学校では計画的に水防、火災、地震の避難訓練を行っている。昨年は小中学校合同での訓練を行い保護者に引き渡すまでの訓練をした。また、避難所に指定されているので職員と共に防災運営マニュアルを共有している。

質問 防犯カメラ設置に向けた対応は。課長 予算の範囲内で、平成30年度で設置し、平成31年度、平成32年度で必要な箇所に設置できればと考えている。



椎葉 弘樹 議員

問 マンガのまちづくり検証・改善は

答 これから取り組みたい

質問 モニュメント設置を一旦終了する考えは。町長 平成30年度の予算計上は見送っており、今後の展開も協議している。一旦は平成29年度でモニュメント設置は終了する認識。

質問 現在の漫画フェスタの振興を目指した祭りがよいのか、しっかりと住民意識を把握して、漫画フェスタのあり方を検討する考えは。町長 漫画に興味がない方、高齢者の皆様が足を運んでおられるかは、なかなか難しいところ。漫画フェスタの様々な意見収集は必要という思い。もう1点は、実行委員会の取り組みと、どう整合性をとるのかという思い。



新たな活用を検討している漫画美術館

質問 今後の漫画関連の投資は、選択と集中でビジョンに向かって必要最小限にとどめ、得られた財源を町の最優先課題に投資していく考えは。町長 そういった視点はしっかりと持ちながら、計画しなければいけないと思う。

問 住民向け行政サービスのIT利活用を

答 ICT利活用協議会で取り組む

総務常任委員会

2月6日/3月13日

委員長	森山宏
副委員長	黒木龍次
委員	黒木喜巳男、高橋一雄、 味岡恭

次の所管事務を調査しました。
 ◎インターネット使用料
 ◎町税の現状と将来

インターネット接続サービスの利用状況と使用料

▼町のインターネット接続サービスは全世帯に設置した告知放送端末を利用して実施。平成23年4月152世帯の加入でサービスを開始し、平成29年4月で305世帯が加入しています。当初目標の300世帯を上回り、料金の見直しを検討しています。(3月定例会で提案)

▼インターネットの接続速度を下げないように、新年度に回線増強(上位回線の帯域を増やす)の予算を計上。本町

の民間サービスはADSLのみでしたが、NTT発表では2023年1月でサービス終了予定のため、本町インターネットサービスの加入世帯は、更に増えるかもしれません。

町税は歳入の1割

滞納者は固定化し、一人当たりの滞納額も増加傾向。滞納整理の強化に努め、平成23年度から県職員の併任徴収と、5町村での合同公売会を実施しています。滞納差押は督促を出したらすぐできません。金額も関係ありません。納付期限から20日を過ぎたら督促状を出します。



総務常任委員会の様子

経済建設常任委員会

2月13日/3月13日

委員長	遠坂道太
副委員長	味岡恭
委員	山下力、黒木龍次、椎葉弘樹

次の所管事務を調査しました。
 ◎町の商工林業補助金
 ◎下水道料金

林業補助金

○湯前町地域産材需要促進事業
木造家屋等を新築及び増築、改築する者に対して補助金を交付。

○湯前町民有林作業道開設事業
作業道の開設に対して補助金を交付。

○森づくり事業補助金
企業との協働の森づくりを推進するための、活動等に対する補助金。

○緑の少年団補助金
次世代を担う子ども達が緑

の親しみ、愛し、守り育てる活動を支援。
 ○林業者大会補助金
林業従事者の育成と林業振興の機運を高めるため林業者大会の開催経費の補助。
 ○森林組合作業班育成対策事業
現場労働者の就業環境を向上し、林業労働力を確保します。
 ○くまもと森林利活用最大化事業(単県事業)
民有林の間伐を促進するため、市町村が森林所有者に間伐材流通経費等の一部を助成した費用を補助する事業。
 ○林業・木材産業振興施設等整備事業(国庫補助金)
林業の持続的かつ健全な発展、木材産業の健全発展と木材利用の推進を図ります。

○商工会青年部女性部補助金
部員の資質向上のための事業や研修参加費等の補助。
 ○店舗新築等資金利子補給補助金
道路拡張に伴う店舗の新築、改築費用等の融資を受けた場合にその利子を補助。
 ○湯前町小規模事業者持続化補助金
国の事業に取り組み小規模事業者に対し補助を拡充するもの。
 ○湯前町観光物産協会補助金
観光・物産の進行を図り、町全体の活性化に寄与
物産協会の人件費、販売所の運営費用、観光PR事業の補助。

○商工観光関係補助金
○イベント実行委員会補助金
ゆのまえ漫画フェスタにかかる運営資金。
 ○湯前町商工会補助金
経営改善普及事業・地域総合振興事業・プレミアム付商品券発行事業。商工会全体の25%を町からの補助金。

■下水道料金
平成28年度末で整備完了している区域面積は175ha、下水道普及率は81.16%です。下水道事業の料金制度(人头制・従量制)は、下水道審議会に諮問しています。10年後の下水道使用料収入は、人口減少の影響で約400万円減収となる見込みです。

厚生文教常任委員会

1月22日/2月26日/3月9日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	高橋一雄
委員	金子光喜、森山宏、遠坂道太

次の所管事務を調査しました。
 ◎指導主事の導入
 ◎保健福祉関連の少子化対策
 ◎教育関連の少子化対策

指導主事を見送り

▼1月22日の委員会で、指導主事導入の調査を行ない、執行部で調整した結果、同日午後からの全員協議会で、町長から見送り方針が示されました。

▼指導主事の業務は、主に学校教育に関わるもの。教育課では、社会教育、学校教育など複数の行政事務を担当しており、教育長自身が計画立案、具体化して会議を計画するのはなかなか厳しい状況。指導主

事の必要経費(給与関係・事業費関係など)は、約900万円。

本委員会での主な答弁

町長 一番の問題は私が明確な説明ができないところ。教育長とのコミュニケーション不足もだが、湯前小中学校で理想とする教育は何なのか、目指すところはどこなのか、委員会の皆様を含めて具体的に説明しないと、指導主事ありきで更新が決まることでもない。逆にどういった指導主事にしたいかを説明できないといけない。

教育長 指導主事の件は、これまで

の会議の議題として正式にあげていない。私が平成28年4月に就任して約1年10ヶ月。指導主事の必要性は教育長になる前から思っていた。初めてその文言を出したのが平成29年5月頃。必要性をもっと早くお伝えすればよかった。切実な思いを訴えるべきだったし、説明不足だった。

少子化対策に近隣市町村との差

少子化対策は待ったなし。保健福祉課と教育課の調査を踏まえ、本町で未実施の少子化対策を速やかに検討していただくよう、町長への要望書提出を全会一致で合意しました。

不妊治療費補助

不妊治療をしている方が多くの費用を払っているため、平成30年度に予算化。



出産祝い金

今後の課題は、出産祝い金を設けるかどうか。祝い金は、そこに住み続ける一つの動機になります。子育てや定住促進は、国の施策という考え方もありますが、発想を変えなければなりません。この祝い金は、平成26年度の課長会で課題となり3年以上が経過しています。

子ども医療費助成(0〜3歳) 県町 4〜15歳・町単独

▼今後の課題は、助成対象を高校まで引き上げるかどうか。現在、通院、入院の医療費を中3まで助成しています。管内の医療費助成は、五木村、球磨村、山江村、水上村、相良村、多良木町が高3まで、その他は中3まで。

▼本町は、平成27年9月から中3まで引き上げました。平成26年度と平成28年度を比較して、町負担は子ども数の減少もあり大きく変わっていません。



給食費の助成

▼今後の課題は、税金を使って給食費を補助するかどうか。人吉球磨管内では、本町のみ助成がありませんが、県内で給食費を補助しているところは少ないです。

議会だより調査特別委員会

1月26日/4月6日/4月13日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	金子光喜
委員	森山宏、遠坂道太

町広報担当者勉強会

1月26日に姫野担当と本委員会メンバーで、広報誌作成のテクニクを中心勉強会を開催しました。知り得たノウハウは、1月に制定した「議会だより編集要領」に早速反映しました。

行政視察研修

2月8日～2月9日

〈宮崎県日南市〉

◎地域資源マーケティング推進事業

◎テナントミックスサポート事業

〈鹿児島県大崎町〉

◎「ゴミ0のまちづくり」

研修で得た地域づくりのヒントは次のとおりです。

○ミッション・ビジョンを掲げる

○データと因果(原因と結果)のまちづくり

▼K(勘)、O(思い込み)、K(経験)、O(思いつき)ではダメ。工場ができて、観光客が増えなくても、仕事があっても、人口動態や需用・供給の視点が違うと、期待する結果は出ません。

▼観光で仕事をつくるには、「観光客×客単価×域内調達率」地域の所得向上が必要です。

▼行政が税金を使って仕事をつくってはいけません。何の仕事も誘致するかが重要です。どの職種が必要不足かを的確

に把握しないと、自治体が地域産業の雇用や競争に影響を与えます。

○人口動態を正確に把握

人口ピラミッド(人口バランス)をドラム缶状に整えることが課題。歪みが出るのが真の問題です。大事なものは、20～30代の人口を増やす、流出をとめる、帰ってきてもらうことです。

○地域の循環をつくる

所得(人・物・金)の地域循環をつくり、生産性を向上することが重要です。

○地域リーダーの存在

首長の迅速な決断力、職員の行動力。住民リーダーの理解と、よそ者・若者の活用が不可欠です。



大崎町でゴミ0の研修を受ける

球磨郡議員研修会

2月23日

〈アンジェリーク平安〉

講師：熊本県危機管理防災企画 有浦 隆 氏

演題：町村防災とは？

熊本地震の教訓とともに

○防災とは

災害を未然に防止し、災害発生時に被害の拡大を防ぎ、災害の復旧を図ることです。防災での失敗は、命に関わります。

○予防に勝る対策なし

行政は、住民を災いなき地におき、災いの前に逃します。住民は、疑わしきを察し、災いの前に逃れます。

○国のブッシュ型支援の改善策

【解説】ブッシュ型支援とは、国が被災自治体の要請を待つことなく物資を輸送する方式。被災者に安心感を与え大変有効ではあるが、被災地では避難所まで運搬する手段、人手、保管場所不足などの問題が発生し混乱をきたすこともある。

▼直接避難所に届ける直接配送方式への変更が必要。九州地区は、その中心に位置する熊本に集積拠点を置き、民間業者間で輸送する体制を構築すべきです。

▼セット(バック)にするのは、特に薬、食糧、水、老若男女用下着、塩、うちわ、アメニティなど。特に、女性、子供目線で準備しないとダメです。

【改善点】リュックにセット(バック)での梱包。

○行政事務の改善策

▼罹災証明の発行や建物被害認定調査、避難所運営訓練などは、大規模災害の経験やノウハウが少ない市町村職員に対して、この種の訓練と準備が必要です。

▼避難所は、行政目線で設置している自治体が多いです。住民は、コミュニケーション(避難生活をカバーしてくれる人がいる集団)がある場所を求めています。速やかに避難できる環境整備が必要です。

▼自主避難所の開設や運営は、住民自らが実施できるよう、自主防災組織を育成します。

す。自助努力意識の向上で、職員力の他業務への移行が可能になります。

▼1981年より前(建築基準法(旧耐震基準))に建てられた建物は、耐震化の調査と対策が必要です。直接死50人のうち、48人が圧死。関連死196人(2017年10月4日現在)の約8割が高齢者です。

▼防災リーダー(スペシャリスト)は、学んだ知識と豊かな発想を活かして、各種計画の作成と準備が必要です。実員指導力を発揮し、初動(72時間対応)の統制や、災害発生後の滞りない行政事務が求められます。被災者に対する、住宅とお金の準備も必要です。

上球磨議員研修会

2月5日

〈ホッポール館〉

演題：質問力で高める議員力・議会力

講師：龍谷大学政策学部教授 土山 希美枝 氏

(研修概要は、一般質問ページP7参照)

公立多良木病院 企業団

定例会

障害児の医療型短期入所事業を議決

3月5日

▼一般質問1件、議案8件(条例改正1件、平成29年度補正予算2件、平成30年度予算5件)を、原案どおり可決しました。

▼障がい児(者)の方を対象とした医療型短期入所事業に取り組むため、「球磨郡公立病院企業団事業の設置等に関する条例」の一部を改正しました。

▼在宅で障がい児(者)の介護を行う方(家族など)が、一時的に介護から解放され、休息をとれるようにする支援(レスパイトケア)の必要性が高まっています。

▼公立病院では、5人程度を予定。人吉球磨の対象者は、現在15人ほどです。

〈公立病院議員 味岡 遠坂〉

上球磨消防組合

定例会

庁舎建設 本格始動

2月28日

▼上球磨消防署の本庁舎は、昭和49年の建設以来40年以上が経過し、老朽化と併せて耐震基準を満たしていないことが指摘されていました。

〈上球磨消防議員 金子〉

▼平成28年度から、職員や議会、正副組合長との協議を重ね、ようやく建設の運びとなりました。

▼一般会計予算は、歳入歳出総額16億3300万円、うち平成30年度庁舎建設費分は約10億6000万円、本町の負担金は約9300万円です。

人吉球磨 広域行政組合

福寿荘民営化の答申

「特別養護老人ホーム福寿荘民営化検討委員会の答申内容」と「民営化スケジュール(案)」の報告がありました。平成32年4月から、民間法人による運営を開始する予定です。



民営化に動き出す福寿荘

定例会

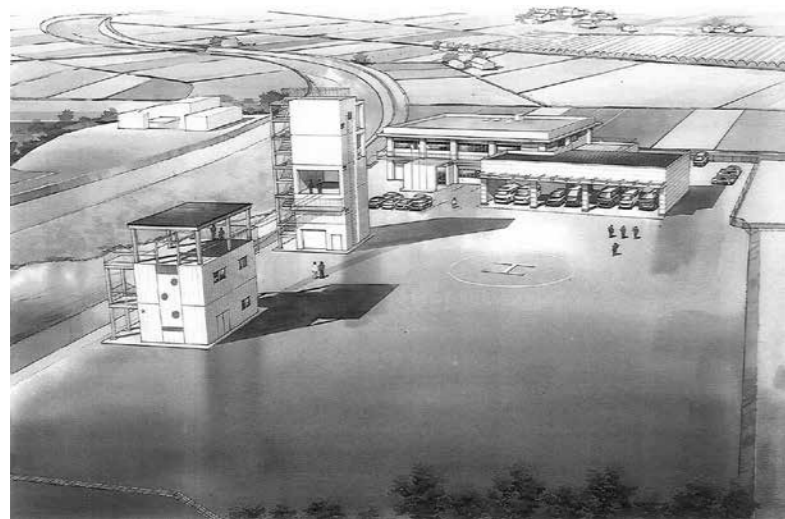
湯前町議員の再選

3月2日・3月28日

▼平成29年度補正予算、平成30年度予算(一般会計、人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計、特別養護老人ホーム特別会計)、代表理事等の報酬及び費用弁償に関する条例改正、人吉球磨ふるさと市町村圏基金の条例改正を、原案通り可決しました。

▼なお、倉本議長長の組合議員辞職により、黒木喜己男議員が再選されました。

〈広域行政議員 黒木喜・椎葉〉



庁舎建設イメージ

テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様から意見をいただきます。

住民の 声



テーマ 湯前町での子育て



上里3区
藤岡 祐子 さん

○まず感想をお聞かせください

現在、中学校・小学校・保育園に通う4人の子育てをしています。湯前町は、自然も多く、人も温かい町なので、子育てをするには恵まれた環境だと思います。

第4子保育料無料制度や、中学校3年生までの医療費助成制度は、子育て中の親にとってはありがたい制度です。

○お困りのことはありますか

現在、特に困っていることはありませんが、町外から嫁いできた私は、当時知り合いもおらず、家に籠もりきりでした。育児中のお母さんは、孤立しがちです。私は町外の「親子リトミック教室」に通っていましたが、そこに通うのがとても楽しみでした。

湯前町にも、お母さんたちが気軽に集える場所や、イベントがたくさんあれば良いと思います。

テーマ 町・議会への提案

○活動内容をお聞かせください

商工会理事として、最近では魅力アップ事業の委員としてマップを作成しました。観光物産協会と連携をとりながら、各商店や事業所観光スポットの紹介をしています。

○ご提案はありますか

近年商工会では、小規模事業者持続化補助金というものが、本年度も公募されています。そのくらいしか補助金というものを商工業者は知りません。

もっと店を良くして、来店客を増やし、町を活気づけたい思いのある事業者に対して、町独自の補助があればきっかけ作りになるかと思っています。



上里2区
兼田 浩一郎 さん
湯前町商工会理事・
観光物産協会観光部会長

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111

編集後記



▶ 消防団の入隊式、保育園の入園式、小中学校の入学式から、新年度が始まりました。

▶ 本号から「住民の声」を掲載していきます。皆様の議会や行政に対する思いを、お気軽にお聞かせください。

▶ 読みたい、伝わる「議会だより」を目指して、本年度も委員会活動を頑張ります。

▶ 現在、駅や漫画美術館の周辺を活用した賑わいを創出する事業を展開しています。桜の花が咲き誇るマンガロードに、たくさんの人が訪れる町を一緒に創りましょう。



新年度を彩るマンガロードの桜(3月24日撮影)

◆議会だより調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員 長	椎葉 弘樹
副委員 長	金子 光喜
委 員	森山 宏
委 員	遠坂 道太

